

基本政策 1 災害に強いまちとすることができる

【基本政策の方向性】

災害から市民の生命・財産を守るため、自助及び共助の、より一層の促進を図るとともに、公助の更なる充実を図り、防災力を高めることで、安心して暮らすことができ、市民が災害に強い“まち”とすることを目指します。

5年後の目指す姿

「地域防災力の向上」

「自分の命は自分で守る」という自助、「近所や地域の方々と助け合う」という共助、公的な支援による公助のそれぞれを充実させ、災害に対する不断の備えを主体的に進める地域防災力の向上を目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
地域防災力の向上に対する満足度（市民意識調査）	50.0%（H30）⇒	70.0%（R7）

基本施策

1－1 自助による災害対応体制の推進

「自分の命は自分で守る」ことを目指し、防災に対する正しい知識と危機意識を持ち、個人や家庭などにおいて災害の備えを十分に行うなど、自助による災害対応体制を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
3日分以上の災害用備蓄をしている人の割合（防災アンケート）	22.2%（H29）⇒	50.0%（R7）

【主な取組】 富士見防災リーダー¹の養成

自助による災害対応を推進するため、防災知識に精通した地域の防災活動を担う富士見防災リーダーを養成します。

【KSF】	現状値	目標値
富士見防災リーダーの養成者数	125人（R1）⇒	165人（R7）

¹ 「富士見市防災リーダー養成講座」を修了し、地域における防災知識の普及や、防災活動の先頭に立って活躍している市民の方

1-2 共助による災害対応体制の推進

「近所や地域の方々と助け合う」ことを目指し、学生等の若年層から高齢者まで地域全体で共に助け合う意識や災害対応力を向上させるなど、共助による災害対応体制を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
防災訓練の参加者数（延べ人数）	9,811 人（H30）⇒	17,000 人（R7）

【主な取組】 自主防災組織結成の促進

地域防災力の向上を目指し、災害に備え、地域で協力して災害対応が図れるよう、自主防災組織の結成を促進します。

【KSF】	現状値	目標値
自主防災組織率	75.8%（R1）⇒	100%（R7）

1-3 公助による災害対応体制の推進

災害に対し万全を期すため、各種計画に基づく災害対応体制を構築するとともに、計画等について市民への浸透を図るなど、公助による災害対応体制を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
富士見市防災ガイドブックの認知度（防災アンケート）	— ⇒	75.0%（R7）

【主な取組】 計画に基づく災害用備蓄品の配備

災害に備え、迅速かつ適切な災害対応が行えるよう体制及び設備の強化を図るとともに、備蓄計画に基づき計画的に災害用備蓄品を適所に配備します。

【KSF】	現状値	目標値
備蓄計画に定めた食糧備蓄に対する充足率	79.5%（R1）⇒	100%（R7）

関連する SDG s ゴール



自助・共助・公助を推進することにより、人の命・財産を守るとともに、総合的な災害リスクの管理を行います。 関連ターゲット（11-5、11-b）



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識、技術を共有し、災害リスクの軽減に向け協力していきます。 関連ターゲット（17-16、17-17）

関連計画等

富士見市地域防災計画

関連部署

総務部 安心安全課